

# よむ

News from  
Inabe City  
Council

No.79

## ギカイ

いなべ市議会だより / 令和5年 / 9月定例会

- P2～ 決算をチェック
- P6～ 定例会のようす
- P10～ 一般質問
- P18 意見交換会のようす
- P19 市民の声

第6回魅力いっぱい いなべを描こうコンクール受賞作品  
「聖宝寺の紅葉」 藤井三耶子さん

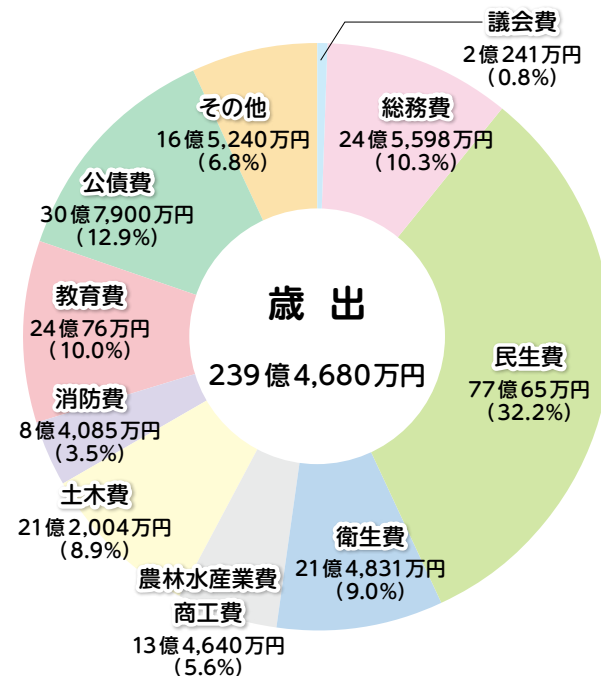
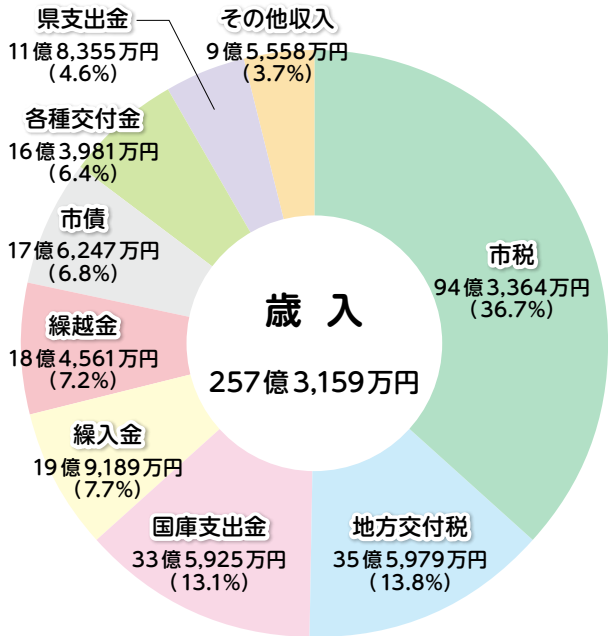


# 令和4年度決算を認定しました

令和4年度の決算は予算決算常任委員会総務経済分科会および都市教育民生分科会で審査し、9月27日の本会議で、すべての決算が認定されました。次ページでは令和4年度の主な事業を掲載しています。

## 一般会計

※グラフ( )内は構成比



## 特別会計

| 区分      | 歳入決算額       | 歳出決算額       | 一般会計からの繰入金  | 一般会計への繰出金  |
|---------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 国民健康保険  | 44億 724万円   | 43億 2,838万円 | 2億 9,530万円  | 0          |
| 後期高齢者医療 | 11億 1,549万円 | 11億 602万円   | 6億 2,260万円  | 2,352万円    |
| 介護保険    | 41億 4,724万円 | 38億 4,605万円 | 5億 9,531万円  | 1億 2,976万円 |
| 合計      | 96億 6,997万円 | 92億 8,044万円 | 15億 1,321万円 | 1億 5,328万円 |

## 企業会計

| 区分    | 収入    | 支出          | 一般会計からの補助金及び出資金 |            |
|-------|-------|-------------|-----------------|------------|
| 水道事業  | 収益的収支 | 11億 2,407万円 | 10億 2,750万円     | 2,054万円    |
|       | 資本的収支 | 6億 9,474万円  | 11億 2,083万円     | 2億 6,698万円 |
| 下水道事業 | 収益的収支 | 18億 4,320万円 | 14億 8,500万円     | 9億 5,483万円 |
|       | 資本的収支 | 4億 5,773万円  | 11億 9,065万円     | 2億 3,543万円 |

※数値については、原則として千円単位で四捨五入しています。このため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。



### 三岐鉄道支援事業

1億1,639万円

北勢線乗車数

令和4年度 2,084,178人

令和3年度 1,923,377人



北勢線の三岐鉄道運行20周年記念車両

### 笠間保育園再建事業

3億4,398万円

火災により焼失したため、旧園舎を解体除却し、仮設園舎を賃貸借



笠間保育園仮園舎

### 母子保健事業

4,756万円

事業参加者

妊婦教室43人

こんにちは赤ちゃん訪問290人

1歳6カ月健診305人

育児相談771人など



妊婦教室(ぶれママセミナー)のようす

### グリーンクリエイティブいなへ推進事業

5,367万円

にぎわいの森来場者数

令和4年度 352,689人

令和3年度 371,272人



にぎわいの森イベントのようす

## 令和4年度 主な事業

### 経営体等育成支援事業

5,667万円

集落の中心となる農業者および新規就農者を育成支援

機械の購入補助支援



補助事業によるコンバインの購入

### 消防団事業

5,111万円

団員322名(充足率98%)

本団役員9人、北勢地区団86人

員弁地区団63人、大安地区団83人

藤原地区団73人、女性消防団8人



いなべ市消防団出初式

### 雪害対策事業

7,563万円

ホイルローダー(除雪仕様)

計4台購入



購入したホイルローダー(除雪仕様)

### 外国人英語指導事業

2,712万円

外国人英語指導助手(ALT)を各小中学校に配置



ALTによる授業風景

# 予算編成に向け市へ提言



議長から市長へ決議を提出

令和4年度決算審査において、市が実施した553事業の中から「安定給水の推進」「災害に強いまちづくり」「森林の適正管理の推進」「地域に開かれた学校づくりの推進」「保育サービスの充実」「男女共同参画の環境づくり」の6つの事業を選定し、評価・検証を行いました。評価結果を議会の意見として決議し、次年度以降の予算編成に向けて市へ提言しました。

## 総務経済分科会

### 分科会評価

- 1 不適切である
- 2 問題がある
- 3 おおむね適正である
- 4 良好である

### 事業の提言

- 1 廃止・休止する
- 2 縮小する
- 3 現状のまま継続する
- 4 改善し継続する
- 5 拡充する

### 事業名 安定給水の推進

評価 4  
(良好である)

- 日常においても非常時も安定給水は市民生活に欠かせない事業である。
- 新水道ビジョンに基づき、事業が計画的に進められ安定給水ができています。また、地域の水事情に合った対策、事業が実施されている。

提言 3  
(現状のまま継続する)

- 令和5年1月には凍結による漏水、断水などが起きた。このような事態への対応を今以上に用意する必要がある。

### 事業名 災害に強いまちづくり

評価 3  
(おおむね適正である)

- 住民の安心安全を確保するため、河川の維持修繕については、個別計画に基づいて着実に進められた。
- 自主防災事業については、限られた予算の中での成果は見られた。自主防災など市民一人一人が、身近なところから災害に備えることは重要である。自主防災組織の役割や必要性の認識は出来つつあるが、市民の意識は低いのが現状である。人的確保や高齢化など、地域ごとの課題を把握する必要がある。

提言 4  
(改善し継続する)

- 意識のある防災組織に対する助成は効果があったが、助成制度の周知や支援が不足している。居住する地域の災害の危険度・危険個所など、担当課とともに認識できるような事業として、さらに発展させることが必要である。

### 事業名 森林の適正管理の推進

評価 4  
(良好である)

- 近年の予期しない豪雨や獣害対策として、森林、特に里山の整備は市民の安全安心にかかわる重要な事業である。
- 地域の自主的な団体を支援し、整備するなどの取り組みは、地域に対する思い入れも醸成でき効果的である。

提言 4  
(改善し継続する)

- 危険木の除去や間伐など成果は上がっているが、基金本来の目的にふさわしくない事業が含まれている。基金事業は、他部署充当（いなべ公園マツ材線虫病防除）などは避け、里山整備事業など本来の目的に沿った活用とすべきである。



里山竹林整備事業で整備された山林



# 都市教育民生分科会

## 事業名 地域に開かれた学校づくりの推進

評価 4  
(良好である)

○地域で子どもを見守る、育てるという事業は、共働きが進み、核家族化した現代には必要であり、学校がその中心となり事業を実施している。未来いなべ科、学援隊事業、コミュニティ・スクールの各事業を密接に関連づけ、それぞれの事業で地域との交流及び支援の機会を増やすとともに、支援内容の広がりを図り、特色ある学校づくりを推進している。

○コミュニティ・スクールを全小中学校に設置し、予算化したことは評価する。成果指標を学援隊数から「学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動に取り組んでいる学校数」に変更したことに工夫が見られる。

○計画、ビジョンには見合っているが、コミュニティ・スクールが事業にどう寄与していくかは未知数であり、今後は中身を構築する必要がある。効率・効果については今後の課題である。

○計画、ビジョンには見合っているが、コミュニティ・スクールの全校の整備が完了したばかりで、今後、「地域に開かれた学校づくりの推進」にどう寄与していくかは、中身の構築次第である。効率・効果についても、十分に留意しながら、各地域と連携強化を図り、構築してほしい。



執行部からのヒアリング

提言 3  
(現状のまま継続する)

## 事業名 保育サービスの充実

評価 4  
(良好である)

○笠間保育園の火災後、翌日から分散保育で保育を継続できたこと、仮設園舎をすみやかに建設し令和4年度卒園式を園児が一堂に会し挙行できたことは、大いに評価する。

○保育士の働き方改革の一環で、令和4年度はICT化を導入し保育士の業務負担軽減が図られたこと、保育士の配置について、国の基準では足りないと認識しているため、市単独予算を使って手厚くしていることも評価する。

○また、社会福祉協議会に任せることにより、国の補助金が見える化できている。ただし、私立化することが、保育士確保、質の維持にとって必ずしも良いとは言えないため、私立化については様々な見地から検討されたい。

○保育士不足の対応について工夫がみられないため、保育士確保の実効性のある対応をされたい。また、保育園の送迎バス運行事業について市民ニーズを充分把握していないため、廃止についてはニーズの把握に努めていただきたい。

今後、多様化する保育ニーズに対応できるよう、保育サービスの提供体制を整備されたい。

○放課後児童クラブについては、三里小学校区では令和6年度に待機児童が発生する可能性があるため、クラブ運営者と協議し、早急に対応されたい。「民設民営」という今までのあり方、各クラブの質の担保等の視点から、市の関わり方を見直す時期が来ていると考えるため、今後検討が必要と考える。



放課後児童クラブの視察

提言 4  
(改善し継続する)

## 事業名 男女共同参画の環境づくり

評価 2  
(問題がある)

○令和4年2月に公表された「男女共同参画に関する市民・事業所アンケート調査結果報告書」では、市として取り組むべきこととして「仕事と家庭・地域活動を両立できる環境の整備」が最も多く、次いで「育児や介護を支援する施設や体制の整備」となっている。これらの調査結果が事業にどう反映されているのか確認できず、独自の工夫も見られない。また、同アンケートでは、複数の項目が前回調査と比較して、全体・男性・女性ともに『男性優遇』が増加となっている項目も見られ、事業の成果があるとは言えない。

○成果指標である「審議会等における女性の登用率」も長年目標数値に達していない。

○新たな男女共同参画第4次推進計画が、第3次推進計画と比較し内容が多岐にわたり充実していることは評価する。今後、第4次推進計画を確実に実行するために、庁内の体制を強化されたい。

提言 4  
(改善し継続する)

令和4年度決算

定例会のようす

一般質問

意見交換会のようす

市民の声

# 9月定例会

(8月30日～9月27日)

補正予算や条例の制定などを含む35議案を審議

令和4年度決算

定例会のようす

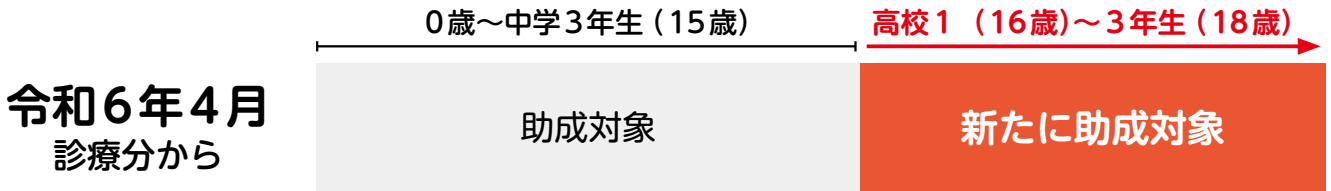
一般質問

意見交換会のようす

市民の声

## 議案第36号 福祉医療費対象年齢引き上げ **全会一致で可決**

0歳から15歳までとする助成対象を、令和6年4月診療分から0歳から18歳までに引き上げる



## 議案第40号 温水プールの指定管理者が決定 **全会一致で可決**

令和6年3月にプレオープンするいなべ市温水プールの指定管理者として、TAC・テルウェル共同事業体を指定しようとするもの

- 質疑**
- Q** 指定管理者選定委員はどんな構成か。  
**A** 市長が委嘱する有識者4人および、市長が指名する市職員3人で構成。
  - Q** どういうところを評価したのか。  
**A** 水泳授業と、スイミングスクールなどの自主事業を重視。
  - Q** 水泳授業の実績のある事業所なのか。  
**A** TAC((株)東京アスレティッククラブ)が水泳授業を行うが、関東で実績がある。テルウェル西日本(株)東海支店が設備点検等を行う。

## 議案第44号 令和5年度いなべ市一般会計補正予算(第3号) **賛成多数で可決**

**戦傷病者・戦没者遺族等援護・追悼事業(麻生田野記念碑周辺整備事業) ... 883万円**  
麻生田野記念碑周辺に平和の鐘を設置するために、員弁地区遺族会に補助を行う

**感染症予防事業(高齢者インフルエンザ予防接種事業) ..... 1,331万円**  
10月から実施する高齢者インフルエンザ予防接種について、令和4年度実績を基に増額

**スポーツ施設修繕事業(大安海洋センター駐車場用地購入事業) ..... 451万円**  
無償で使用貸借契約を締結していた大安海洋センター駐車場用地を購入

**財政調整基金等管理事務 ..... 13億5,285万円**  
繰越金が確定したため、基金積立金を増額。内訳は、財政調整基金が7億9,795万円、市債管理基金5億5,490万円

## 議案第44号 令和5年度いなべ市一般会計補正予算(第3号)

賛成多数で可決



岡 恒和

### 会計年度任用職員の給与改善が不十分

期末手当補正額が少なすぎる。支給月数0.6月は(常勤職員は2.4月)、総務省の「常勤職員との権衡(つりあい)」に反し、また支給要件の週30時間以上は、国の示す基準15時間30分より狭い。全国の自治体等は、月数では常勤職員と同等が8割以上、また要件も国と同等以上が8割を超える。市は低い基準の理由を、支給が増えると扶養控除や扶養手当から外れることを考慮したというが、働く側が状況に応じて勤務時数を調整すれば良いことで理由にならない。



篠原 史紀

### 子ども・子育て支援拡充、市民の健康増進のための増額補正を大いに評価

小児科医と連携した発達支援、保育士の確保対策、産後ケアの拡充など大いに評価する。来年度から医療費助成の対象年齢を18歳まで引き上げるためのシステム改修は必須。健康寿命の延伸を図る、生活習慣病予防対策のげんき応援アプリについても、さらに普及を図るための予算増額も適正。会計年度任用職員の賞与については、時代状況に鑑み、常に職員や組合の意見に耳を傾け、支給条件の見直しを随時図ることを要望し賛成とする。

## 認定第1号 令和4年度いなべ市一般会計歳入歳出決算認定

賛成多数で認定



衣笠 民子

### 市民のくらし応援の市政に

市は補助金があるかを基準に梅林公園内大規模キャンプ場整備、宇賀溪キャンプ場整備事業など国、市の税金を使い観光事業に力を入れてきた。収益は指定管理者のもので市や市民の収益にはならない。いなべの名をあげることが市民への還元と説明するが、市民の福祉の増進が自治体本来の仕事。民間に任せないとノウハウがないような集客目的の事業は自治体やるべき仕事ではない。温水プールもこれからの経費が不明のまま進められていて大問題。



伊藤 智子

### 滞りなく より良く市民のために進められた

令和4年度は、保育園・小中学校の給食費無償化が実現した。家計を助け精神的安定にも役立ち、教職員の給食費の徴収事務もなくなり、大いに意味のある事業である。市民プールの建設は、安定した小学校の水泳授業・教職員の負担軽減・市民の健康増進など、市民が楽しみ期待される事業である。本市のマイナンバーカードの交付率は三重県下で1位、しかもトラブルは1件もない。これはどんなに誠実に仕事が進められたかを表す。



西井 真理子

### 市民が前を向けるサービスを

農業公園を拠点に、総額16億円を見込む野遊び推進事業が進められた。事業予算の約16億円は誰のため、何のために投資するのか。限られた市民にしか波及しておらず、大半の市民にメリットがない。今、市民生活は物価や原油価格の高騰などで確実に苦しい状況。先が見通せない状況の中、市民に寄り添い、前を向けるサービスを行政はすべき。温水プールは、「どのようなプールにしていきたいのか」を聞かないままでは、今後に大きな不安が残る。



篠原 史紀

### 特に笠間保育園の火災後の対応について、市民に大きな負担をかけたが、大いに評価する

長期に及ぶコロナ禍で、試行錯誤を強いられる中、総じて市民の安全や暮らしを守るための事業をしっかりと行ったこと、笠間保育園の火災対応について、保護者からの苦情等があったものの、迅速な分散保育体制の確立、年度内に仮設園舎建設を実現し全園児・職員で卒園式を挙げてきたことは大成果だ。観光事業での変更があった場合の議会への即時報告、コロナ禍で得た知見を職員の働き方改革や危機管理に生かすことを要望し賛成とする。

## 請願第5号 政府に核兵器禁止条約への参加を求める請願

賛成少数で不採択



清水 隆弘

### 我が国政府の核兵器廃絶に向けた見解と長年の行動を支持

我が国は、1994年以降、毎年、核兵器廃絶決議案を国連総会に提出し、多くの国の賛同を得ている。2018年には「核軍縮の実質的な進展のための賢人会議」を立ち上げ、具体的に行動している。我が国が核兵器禁止条約に参加するということは、核保有国と非保有国との間に対立をおおることになるかもしれない。唯一の被爆国として核保有国と非保有国との「橋渡し」をすべき我が国が逆に対立を生み、核廃絶に対して逆効果になることが危ぶまれる。



篠原 史紀

### 人類史上唯一の「被爆した独立国家」として世界をリードすべき

日本は世界で唯一の被爆国であり、広島・長崎では、約21万人が死亡し、犠牲となった。米国による無差別な民間人への核兵器投下であり、広島だけで子どもが約2万5,000人も亡くなった。全世界の存亡が核の脅威にある現状の中、日米安保を基軸とする国防体制とは全く別な独立国家としての立ち位置で、日本が核兵器の全面禁止を全世界に訴えることは、世界や地球の存亡を守る意味で日本にしかできない重責であると考え賛成する。



# 請願第6号 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設等を求める請願のうち早期発見のための聴力検査の実施

賛成少数で不採択



岡 恒和  
補聴器助成利用に  
聴力検査は必須

2023年6月現在全国保険医団体連合会調べで何らかの補助を行っている自治体は190を超える。全国の自治体の1割以上となっている。

補助金額は1万円から13万円以上と大きく異なっているが、補助を受けるためには医師の証明か、聴力レベルの測定が必要とされ、一定の基準以下とされている。早期に発見し補助を受けるには、聴力検査が必須であるため、補聴器購入補助と合わせて一定年齢での聴力検査に対する補助が必要。



片山 秀樹  
難聴と認知症の因果関係は研究中で、聴力検査の公的補助は現段階では認められない

国立長寿医療研究センターにおいて、補聴器の装着の有無による認知症発症率に差が出るのか研究が継続されている。難聴と認知機能の低下の相関関係は確認されているが、難聴が認知症になるといった因果関係については研究結果を得るに至っていないとされている。よって、成人病予防の目的である健康診断の検査項目に聴力検査を追加してほしいという請願には、今の段階では賛成できない。

## ★賛成と反対が分かれた議案と審議結果

○は賛成 ●は反対 小川幹則議長は採決に加わらない。(可否同数の場合は議長裁決)

| 議案名   | 会派    |      | いなべ未来 |      |      |      |     |       |      | 創風会 |      | 新風いなべ |      | いなべ市議団<br>日本共産党 |      | 無党派 |      |      |       |
|---|-------|------|-------|------|------|------|-----|-------|------|-----|------|-------|------|-----------------|------|-----|------|------|-------|
|   | 付託委員会 | 審議結果 | 渡辺一弘  | 伊藤三保 | 原田敬司 | 小川幹則 | 岡英昭 | 位田まさ子 | 種村正巳 | 林正男 | 小寺徹翁 | 伊藤智子  | 清水隆弘 | 多湖公             | 片山秀樹 | 岡恒和 | 衣笠民子 | 篠原史紀 | 西井真理子 |
| 議案第44号<br>令和5年度いなべ市一般会計補正予算(第3号)  | 予     | 可決   | ○     | ○    | ○    | —    | ○   | ○     | 欠    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○               | ○    | ●   | ●    | ○    | ○     |
| 認定第1号<br>令和4年度いなべ市一般会計歳入歳出決算認定について  | 予     | 認定   | ○     | ○    | ○    | —    | ○   | ○     | 欠    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○               | ○    | ●   | ●    | ○    | ●     |
| 認定第2号<br>令和4年度いなべ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について                                  | 予     | 認定   | ○     | ○    | ○    | —    | ○   | ○     | 欠    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○               | ○    | ●   | ●    | ○    | ○     |
| 請願第5号<br>政府に核兵器禁止条約への参加を求める請願   | 総     | 不採択  | ●     | ●    | ●    | —    | ●   | ●     | 欠    | ●   | ●    | ○     | ●    | ●               | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     |
| 請願第6号<br>加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設等を求める請願のうち加齢性難聴者に対するいなべ市独自の補聴器購入補助制度の創設 | 都     | 採択   | ○     | ○    | ○    | —    | ○   | ○     | 欠    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○               | ○    | ○   | ○    | ○    | ○     |
| 請願第6号<br>加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設等を求める請願のうち加齢性難聴を早期発見のための聴力検査の実施         | 都     | 不採択  | ●     | ●    | ●    | —    | ●   | ●     | 欠    | ●   | ●    | ●     | ●    | ●               | ●    | ○   | ○    | ○    | ●     |

(付託委員会／ 総：総務経済常任委員会 都：都市教育民生常任委員会 予：予算決算常任委員会)



# 9月定例会議案 議決結果一覧表

★全会一致で可決および承認した議案等

※議案名が省略してあります

|   |   |
|---|---|
| 諮問第3号、4号 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求める…法務大臣に推薦するもの                                   | 認定第3号 令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定  |
| 同意第2号 監査委員の選任につき同意を求める…代表監査委員の選任をするもの   | 認定第4号 令和4年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定   |
| 議案第34号 選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正…物価上昇が要因で限度額を引き上げるための改正                           | 認定第5号 令和4年度水道事業会計決算認定及び未処分利益剰余金の処分  |
| 議案第35号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正…会計年度任用職員に期末手当を支給するための改正                  | 認定第6号 令和4年度下水道事業会計決算認定及び未処分利益剰余金の処分   |
| 議案第36号 福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正…福祉医療費の助成を18歳までに引き上げるための改正                         | 請願第1号 義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願…員弁郡・いなべ市PTA連合会会長、員弁郡・いなべ市校長会会長、三重県教職員組合員弁支部支部長より出された請願                                   |
| 議案第37号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正…こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備により改正 | 請願第2号 教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行及び教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願…員弁郡・いなべ市PTA連合会会長、員弁郡・いなべ市校長会会長、三重県教職員組合員弁支部支部長より出された請願 |
| 議案第38号 いなべ市給水条例の一部を改正…水道整備・管理に関する事務が厚生労働省から国土交通省に移管されるため改正                    | 請願第3号 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願…員弁郡・いなべ市PTA連合会会長、員弁郡・いなべ市校長会会長、三重県教職員組合員弁支部支部長より出された請願                     |
| 議案第39号 財産の無償譲渡…北勢東部林業会館の有効活用を図るため、大辻新田自治会へ無償譲渡するもの                            | 請願第4号 防災対策の充実を求める請願…員弁郡・いなべ市PTA連合会会長、員弁郡・いなべ市校長会会長、三重県教職員組合員弁支部支部長より出された請願  |
| 議案第40号 温水プールの指定管理者の指定   | 発議第3号 令和4年度決算審議における事業評価に関する決議   |
| 議案第41号 市道路線の認定…宅地開発によって新設された道路を認定するもの(11路線)                                   | 発議第4号 義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書   |
| 議案第42号 市道路線の変更…起点または終点を変更するもの(3路線)  | 発議第5号 教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行及び教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書   |
| 議案第43号 市道路線の廃止…一般に使われなくなった市道を廃止するもの(2路線)                                      | 発議第6号 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書   |
| 議案第45号 令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)   | 発議第7号 防災対策の充実を求める意見書  |
| 議案第46号 令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  |   |
| 議案第47号 令和5年度介護保険特別会計補正予算(第1号)   |   |
| 議案第48号 令和5年度水道事業会計補正予算(第1号)   |   |

令和4年度決算

定例会のようす

一般質問

意見交換会のようす

市民の声

# 国に意見書を提出

## ・義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書

未来を担う子どもたちに「豊かな学び」を保障することは、社会の基盤づくりにとって極めて重要なことです。義務教育については、国が責任を果たすとの理念に立ち、教育に地域間格差が生じないように、必要な財源を確保する。義務教育費国庫負担制度の存続はもとより、措置の対象の拡充を含めた制度のさらなる充実が求められます。以上のような理由から、義務教育費国庫負担制度の充実を強く切望する。(抜粋)

## ・教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行及び教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書

全国的に「教員不足」、「教職員未配置」の問題が深刻化しています。教職員が心身ともにゆとりを持って子どもたちと向きあい、日々の教育活動を創り出していくことは、子どもたちの「豊かな学び」の保障につながる基盤となるものです。少子化が進む中、教育費の公財政支出を充実させて、保護者負担の軽減を図ることは有効な少子化対策にもなり得ます。以上の理由から、教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行及び教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めます。(抜粋)

## ・子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書

「子どもの貧困率」は11.5%、およそ子ども9人に1人の割合で貧困状態にあるとされています。また、大人が1人の世帯の相対的貧困率は44.5%と、大人が2人以上いる世帯(8.6%)より著しく厳しい経済状況におかれています。また、総務省発表による消費者物価指数における前年同月比は依然として、3%を超える上昇がみられており、家計への負担増大が続いています。国により、今後進められようとしている児童手当の充実等の子ども関連施策についてもさらなる充実と、国による財源の十分な確保が求められます。そしてすべての子どもたちにとってより良いものとなることが望まれます。以上の理由から、子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めます。(抜粋)

## ・防災対策の充実を求める意見書

災害や感染症は、いつ発生するかわかりません。性やプライバシーに関する課題への対応、また、外国人、介助・介護が必要な高齢者、障がい者、女性、乳幼児への配慮など、まだまだ改善すべき課題は山積しています。国の責任において、安心して被災者が避難できるように備えるべきです。過去の災害に学び、最善の備えを整えていくという考えのもと、防災に関わる施策がさらに充実されることを強く望むところです。以上のような理由から、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実をすすめることを強く切望するものです。(抜粋)

上記の意見書をいなべ市議会から、財務大臣および文部科学大臣あてに提出しました。

# 一般質問 市民の声を届ける



一般質問は市政全般に対して質問を行います。一般質問の内容についての記事は各議員の責任において掲載しています。なお、要約して掲載しています。

質問通告項目は以下のとおりです。

岡 英昭 ..... P11

- 1 子ども食堂について
- 2 少年スポーツの振興について
- 3 市の施策について

位田まさ子 ..... P11

- 1 家庭ごみの減量化推進について
- 2 「ふれあいサロン・訪問活動」の充実のために

原田 敬司 ..... P12

- 1 企業誘致について
- 2 いなべの教育について

伊藤 三保 ..... P12

- 1 誰ひとり取り残されない学びの保障に向けた不登校対策
- 2 空き家の利活用を推進するには

渡辺 一弘 ..... P13

- 1 もっと利用しやすい「公共交通」を目指して
- 2 太陽光発電設備に関する条例もしくはガイドラインの制定を
- 3 市民の健康増進のため医療助成を

小寺 徹翁 ..... P13

- 1 高齢者の「聞こえ」に対する市の対応について

伊藤 智子 ..... P14

- 1 労働環境の充実、企業誘致などの目標は
- 2 本市の食料自給率・地産地消について
- 3 更に文化・芸術の香り高い市へ

清水 隆弘 ..... P14

- 1 認知症の人が暮らしやすい地域づくりについて
- 2 太陽光発電について

多湖 公 ..... P15

- 1 太陽光発電事業設置条例の必要性
- 2 マイナンバーカードの普及状況は
- 3 いなべ市が目指す観光事業の効果は何か

岡 恒和 ..... P15

- 1 会計年度任用職員の任用及び待遇等について問う
- 2 いなべ市所有道路の損壊等について問う

衣笠 民子 ..... P16

- 1 太陽光発電設備設置に関する条例又はガイドラインの制定を
- 2 観光強化で市民の住みやすさ、利益はどこに
- 3 個を大切に社会へ

西井真理子 ..... P16

- 1 太陽光発電設備について
- 2 いなべ市のSDGs

篠原 史紀 ..... P17

- 1 高齢者の健康増進を図り、安心して暮らせるための福祉政策強化を
- 2 市議会の「太陽光発電設備に関する提言」に対する市の回答について





←動画配信  
サイトへ

いなべ未来  
おか 英 昭



←動画配信  
サイトへ

いなべ未来  
いん 田 まさ子

## 少年スポーツの環境整備へ

答／次代を担う少年への有効手段だ

- Q 大会への補助金等支援は。
- A 協会への委託料と各大会にトロフィー、メダル等を支援。
- Q 部活動地域移行への進捗状況は。
- A 令和6年度に剣道部をモデル事業として選定し、地域移行に向けて検証を進める。
- Q マイナーな種目でなく競技人口が最も多く受け皿も整う軟式野球にすべきだと思うが。
- A 検討していく。
- Q 部活動が縮小され希望の部がない子は学校以外の団体に加入している。市内で少年の健全育成を目的に活動するスポーツ団体に支援を。
- A 学校以外の団体に希望入団の人と、学校の部活の人との公平性の面で支援は難しい。



少年スポーツの振興に補助金を

## 子ども食堂について

- Q 運営補助金は県が各種補助金制度を設けているが、市独自の補助金制度を創設する考えは。
- A 県の補助金、赤い羽根募金等を活用して運営しているが市独自の補助金制度の創設をする方向で検討していきたい。
- Q 子ども食堂の社会的役割と支援策は。
- A 子どもの貧困対策、居場所づくりとしてスタートした。地域の交流拠点として食を通して地域のコミュニケーションを図る重要な場である。ネットワークの広がりを活用し資金だけでなく物品等の受入れを促進し支援していく。

## 市長任期満了を迎えるにあたり

- Q これまで行った施策の総括は。
- A 東海環状道開通で企業誘致、高齢者の健康増進策（100歳以上の人47人で在宅の人半数に増える）地域の特性を生かした生活環境・子育てしやすいまちづくり等々の施策の実行に取り組んできた。

## 生ごみ減量化推進のため補助金は

答／令和6年度から2台目も補助する

- Q 家庭ごみの1日1人当たりの平均発生量の推移は。
- A 一般廃棄物排出量は、令和元年度576g/人、令和2年度648g/人、令和3年度641g/人となり増加傾向。
- Q 生ごみ減量化を進める補助金対象は。
- A 合併以前からごみ減量化を促進しており、1世帯当たり簡易式容器と電動式容器各1基を限度に購入金額の1/2以内で5,000円を上限に交付。
- Q 1世帯当たり何回申請できるのか。
- A 1世帯簡易式、電動式容器とも1基1回。
- Q 以前購入した簡易式コンポストは、相当劣化している。もう1つ必要なので、今一度補助金を願う。
- A 令和6年度に補助できるようにする。



コンポスト

## ふれあいサロン・ふれあい訪問活動の充実のために

- Q 今後、ふれあいサロン・活動の目指す姿と推進は。
- A 皆が地域で支え合い、高齢者や障がい者、外国人も条件が適応していれば参加し、夏休みなど会員は孫を連れて参加できるようにしたい。
- Q そんなふれあいサロンにするためには、高齢者が増える一方で現行の上限30,000円の補助金では、足りない地域が出てくる。上限を50,000円に引き上げてはどうか。
- A 社協と協議する。



## 企業誘致の方法は

### 答／オーダーメイド方式で

Q 令和5年6月定例会において、事業計画の説明にあった藤原町坂本地区の工業団地について、誘致の方針および計画は。

A 藤原町本郷、坂本地内における新規の工業団地の造成事業は、令和5年の秋頃から地元説明や用地交渉に取り掛かる。今後は、具体的な計画とスケジュールを示していくことになる。

Q 市長はこれまで一貫して「オーダーメイド方式」を主張してきたが、民間のスピードに対応できていないとも発言してきた。今後、いなべ市はどのように対応していくのか。

A 藤原工業団地は、完売までに26年かかった。基本的には進出企業の要望に応じた開発を進めるオーダーメイド方式という考え方は変わっていない。今回の藤原町本郷、坂本地内の工業団地計画は、用地取得のために事前に調査などを進めていたことや企業が進出しやすい場所と考えられることから、先行的に工業団地計画を進めていきたい。

## 丹生川小学校の改築・改修について

Q 「いなべ市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画」にある改築・改修の考え方によると、築40年目で長寿命化改修を行い、目標使用年数を築80年まで延長する考えだ。現在の丹生川小学校が現実的に、その計画に耐えうると考えているのか。

A 丹生川小学校については、平成9年に大規模改修工事を行っており、さらに平成17年には耐震補強工事も行っている。今の状況では耐えうると考えている。



丹生川小学校



## 学びの保障に向けた不登校対策を

### 答／個々の状況に応じた対応や支援を

Q 「COCOLOプラン」に教室に行きづらい児童生徒が落ち着いて学習できる「校内教育支援センター」の設置促進をとあるが、本市の設置状況は。

A 「COCOLOプラン」に先がけ全中学校に設置している。

Q 小学校に未設置の理由は。

A 小学校においては、発達段階もあり、一人一人に対して登校を促す等の直接的な働きかけや、別室において学習支援等の対応をすることで、状況が改善することが多くある。そのため、校内教育支援センターを設置するのではなく、一人一人の状況に応じた対応や支援を充実したい。

Q 誰でも参加できる「保護者の会」を設置する考えは。

A 設置する考えはない。設置すればよいということではなく、まずは保護者と繋がり、思いや悩みを聞くなどの支援を充実したい。



COCOLOプラン (文部科学省より)

## 空き家の利活用を推進するには

Q 「空き家等対策の推進に関する特別措置法」の一部が改正され、「空き家等活用促進地域」を定めることができるが、本市で取り組む考えは。

A 地域指定はせず、市内全域を対象とし、空き家活用促進を行う。

Q 空き家の多岐にわたる問題に対応できるよう、「NPO等の民間主体やコミュニティの活動を促進する」とあるが。

A NPO等民間主体やコミュニティの活動を促進する考えはない。来年度行う実態調査のアンケート結果に基づき、対処法を個々に提案し解決に導きたい。

Q 法改正により電力会社などから情報提供が可能になるが、業者と連携していく考えは。

A 業者との連携は、個人情報が含まれているので、たとえば空き家の再利用のチラシを業者に配ってもらい、所有者から連絡をもらうような仕組みができればと考えている。





## 帯状疱疹の予防接種の費用助成を

### 答／助成を検討したい

- Q 最近「帯状疱疹」に罹患する人が増えている現状があるが、接種1回の生ワクチン（水痘ワクチン）の費用は最大9,000円程度、接種が2回必要の不活性ワクチン（帯状疱疹ワクチン）は、最大4万4,000円と高額なため、本市でも予防接種の費用助成を真剣に考えては。
- A 国の動向や近隣市町の実施状況を注視し、助成を検討する。

## 太陽光発電設備に関する条例 もしくはガイドラインの制定を

- Q 条例制定まで進めないのであれば、違反をするような業者の被害を少しでも減らすために、市のホームページ等で氏名公表等のガイドラインを作成すべきでは。
- A 太陽光発電施設の申請窓口である国と協議を行いたい。

## もっと利用しやすい「公共交通」を目指して

- Q 免許返納率も上がり、交通弱者がますます増えることが予想される。市の交通弱者対策は。
- A いなべ市福祉バスの運賃無料が究極の支援であると考えている。無料で運行することにより外出支援の意味も込め、現在の形での運行継続を考えている。
- Q 福祉バスを土曜、日曜、祝日も運行する考えは。
- A 平成30年に当時の議員や会派別に運転手不足の現状を説明し、土曜日を運休とした経緯があり、計画はない。
- Q 市内の公共交通としての福祉バス、北勢線、三岐線をさらに連結させる必要があると考えるが、もう少し細やかな連携調整ができないか
- A 4月に実施したダイヤ改正で可能な範囲で鉄道との調整を行った。鉄道だけでなく、実際の運用上、微調整も実施した。今後も鉄道のダイヤ改正などにも配慮し、可能な範囲で対応を考える。



福祉バス



## 高齢者の補聴器購入助成を

### 答／他市町の状況を調査し検討する

- Q 令和3年度の要介護認定申請件数は1,860件、聴力に不自由を感じている人は1,039件、令和4年度における調査結果は。
- A 令和4年度申請件数は1,672件、認定調査で普通に聞き取れるが745件、それ以外は927件（55%）。
- Q 県内各自治体の高齢難聴者への補聴器購入費助成制度の実施状況は。
- A 桑名保健所管内1市5町では朝日町のみ実施している。
- Q 本市の現状を踏まえ、加齢性難聴を早期発見するため健康調査を行ってはどうか。
- A 市独自で項目を追加する予定は現在のところないが、難聴の早期発見は高齢者のQOL（生活の質）の向上につながるため、受診勧奨の啓発は進めていく必要がある。
- Q 高齢難聴者への補聴器購入の一部助成の創設について、以前の一般質問の答弁では、国、県、他の自治体などの状況を見るとともに、補助による補聴器普及効果を見極めていくとのことだったが、その後どうか。
- A 143自治体を実施しているが、現状として高齢難聴者への補聴器購入の一部助成については、根拠や効果といったエビデンスや費用対効果が不明確であることから、引き続き検討中の状況。
- Q 難聴者が来庁した際、窓口に軟骨伝導集音器を設置しては。
- A 8月末から11台の集音器を各部署に設置。
- Q 北勢市民会館など施設での各種イベントに難聴者が聞こえやすいヒアリングループを設置しては。
- A 現在、教育委員会管理の文化施設には設置されていない。施設利用される難聴者への対応は事業主催者側をお願いしているが、福祉部が持ち運びに便利なヒアリングループを所有している。貸し出しは無料。



市窓口に集音器イヤホンの設置



## 更に文化・芸術の香り高い市を

### 答／旧大安庁舎周辺にくつろぎの空間

Q 文化・芸術を推奨する考えは。

A 長く趣味をもてる環境のある事は人生を豊かにできる文化・芸術も出来るだけ推奨していきたい。温水プール周辺の宇賀川の浅瀬や大井田城跡地の山林を野外体験に、旧大安庁舎に屋内で冒険を体験できる木製の大型遊具を設置したい。健康増進施設としてのフィットネス施設や健康を相談できるスペース、芸術や文化を学べる社会教育のスペースも検討し、皆さんが趣味で色々な事ができる、町づくりを進めていきたい。

Q 旧大安庁舎周辺に公園はできないか。

A 宇賀川のさくら並木にベンチのようなものができて皆さんが集えるような空間にし、車道も規制してくつろげるような空間に出来ればと思う。



宇賀川で楽しむ家族連れ

## 本市の食料自給率・地産地消について

Q 地産地消についての考えは。

A 地産地消は極めて効率の良い方法である。学校給食について、地元の農産物を納入できる八百屋さんと栄養士や調理師さんと教育委員会を中心に協議の場を創り、地元農産物の活用を推進したい。国の「みどりの食料システム戦略」が有機農業を推奨している、国の有機栽培農産物「有機JASマーク」の認証基準は非常に厳しいが、この条件をクリアして取り組む地域や集団を募集して有機農業を進めていきたい。

Q 「有機JASマーク」取得は有料である。有機農業推進のための補助などは。

A 桑名地域農業改良普及センターと協議して積極的に導入を図っていきたい。



## 市が目指す認知症対策は

### 答／認知症になっても暮らせる地域に

Q 市が把握している認知症の人数と将来予測は。

A 何らかの認知症状があると推測するのは1,995人。将来的には高齢者の5人に1人が認知症と言われ、約2,500人が認知症になると推測。

Q 認知症高齢者等SOSネットワークの協力団体数は。

A 337団体。協力員数3,269人。

Q 団体の種類は。

A 介護事業所、医療機関、金融機関、交通機関、飲食店、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド等。

Q 認知症高齢者等が行方不明時にSOSネットワークがきちんと機能するように協力員に「まいめる」の登録を確認すべきだと思うが。

A 地域包括支援センター職員が「まいめる」への登録をお願いしている。

Q SOSネットワークの登録者数は。

A 46人。

Q 今後大事な取り組みであると考えられる独居老人への行政の支援は。

A 地域の方々の力を借りて行政と社会福祉協議会が協力してサービスにつながるように今後も努力する。

### 急増する65歳以上単身世帯数の推移

| 年     | 世帯数    | 増加率  |
|-------|--------|------|
| 平成17年 | 779世帯  |      |
| 平成22年 | 936世帯  | 1.2倍 |
| 平成27年 | 1240世帯 | 1.3倍 |
| 令和元年  | 2550世帯 | 2.1倍 |

## 太陽光発電の適切な設置を

Q 令和2年は太陽光発電事業認定数は787件で現在は558件。減った理由は何か。

A FIT制度の売電価格が減少したので、認定後の事業中止になったと思われる。

Q 太陽光発電に関する市民からの相談にどのように対応したか。

A 自治会長から太陽光発電建設反対の相談を受けた際、自治会長へは自治会内で出た意見を取りまとめて、事業者へ申し出るよう助言した結果、認定申請の取り下げに至ったケースもある。

※FIT制度…再生可能エネルギーの固定価格買取制度のことで、一定の期間一定の価格で電力会社が買い取ることを国が約束した制度





## 太陽光発電事業設置条例の必要性は

答／再エネ特措法の規制強化で対応

- Q 事業者が県のガイドラインの申請対象外であっても、住民説明会を開き市民に理解を得る必要があるのでは。
- A 令和5年5月の法改正による規制強化で、地元住民しか設置できなくなる。今後は地域住民が意図しない新たな設置はない。
- Q 設置した太陽光パネルには寿命があり産業廃棄物となる。パネルが放置されたら市はどう対応するのか。
- A 産業廃棄物のため県と協議しながら指導していきたい。
- Q 健全に普及させるためにも、市として規制は必要と考えないか。
- A 法改正で設置審査が厳格化されたことで、これまでの他市の条例による規制も網羅されている。市独自の規制はしない。



市内の太陽光発電所

## マイナンバーカードの普及状況は

- Q マイナンバーカードの交付状況は。
- A 7月末時点36,302枚、交付率80.8%
- Q 紙の保険証は原則廃止になる。カードを持っていない人は一時的に無保険になるのか。
- A 保険証の代わりに資格確認書を交付することになっている。
- Q 全面普及に向けてどのように進めるのか。
- A 高齢者宅、福祉事業所には出張サポートを継続する。

## いなべ市が目指す観光事業の効果は何か

- Q 宇賀溪キャンプ場の予約状況は。市民への効果は。
- A 8月末現在542組利用。若手起業人を受け入れ、新たな税収の柱として観光によるまちづくりを進めることで市民に還元。
- Q 梅林公園のグランピング計画があるが、市と市民に対しての効果は何か。
- A 観光振興により新たな税収や雇用の確保を進め、市民への還元につなげたい。



## 期末手当の支給月数は

答／年間0.6月とした

- Q 会計年度任用職員制度の導入等に向けた事務処理マニュアル(第2版)では、期末手当の支給について「常勤職員やフルタイムの会計年度任用職員の取扱いとの権衡(けんこう) (つりあい)等を踏まえて定めるべきもの」とされている。常勤職員の期末手当支給月数は。
- A 2.4月となっている。
- Q 常勤職員の4分の1となる。マニュアルに反するのでは。
- A 職員組合からは同等の支給を要望されたが、財政的な事情などから今回の月数で合意した。
- Q 総務省通知で制度設計時の留意事項として「単に財政上の制約のみを理由として、期末手当の支給について抑制を図ることは、改正法の趣旨に沿わないもの」とされている。来年度以降、法の趣旨に沿うよう改正を必要があると思うがどうか。
- A 年収ベースで考えているので期末手当と報酬を調整していきたい。

## いなべ市所有道路の損壊等について

- Q 2023年1月、市所有道路の損壊および廃棄物の投棄に関し、市民から市へ通報がされた。質問の趣旨は(1)市民の財産が侵害されていないか (2)廃棄物の投棄により水や土壌が汚染されていないか (3)市の対応は適正であったか (4)今後必要な対応は の4点になる。原因者に損壊の時期は確認したか。
- A していない。
- Q 原因者による原状回復の見込みは。
- A 隣接する別の地権者との調停となっており、その成り行き次第。
- Q 原因者に廃棄物の内容等を確認したか。
- A していない。
- Q 土壌調査などをしなかったのはなぜか。
- A 当時の状況から判断した。



## 自衛隊員募集、提供する情報は

答／住所、氏名を男女別に提供

Q 対象年齢は。

A 年度中に満18歳、22歳になる人。

Q 提供に本人の同意はあるか。

A ない。

Q 提供を望まない人の除外申請は。

A 個人情報個人大切な情報。次回提供時から制度を設けるよう検討と準備を始めている。



自衛官募集看板

## 観光強化で市民の住みやすさ、利益はどこに

Q 梅林公園内キャンプ場、宇賀溪キャンプ場、にぎわいの森、阿下喜温泉再生の総事業費は約40億円、市の負担分約15億円。これらは、市がやる事業か。

A 国や県は地方創生として補助金をつくりインバウンド事業を進めている。新たな事業や活動をする人が増えれば大きな利益になると思う。

Q 今回の補正予算では給食費無料化や子どもの医療費無料の所得制限撤廃、18歳まで医療費無料年齢引き上げが実行、提案された。今後は観光より子育て応援をする方が良いと思ったのか。

A 両方必要。国の補助金があるものは積極的に取り入れていきたい。

## 太陽光発電設備設置に関する条例またはガイドラインの制定を

Q 都市教育民生常任委員会で提言した。市の回答では「市は関係ない」という立場だと思える。市が実情に合わせ条例またはガイドラインをつくることは可能。改正もできるため、使い勝手が良い。なぜその回答か。

A 回答時は国の審議会で議論がされていた。今議会で提出した資料には規制が強化されているので、市独自の規制はしない。



## 市民の安心安全のため条例は

答／国の法改正で十分足りている

Q 過去3回以上にわたり太陽光に関する国の法律は改正されている。パネル事業者は何としても設置するため、法をくぐり抜けようとする。現在、市内で太陽光パネル設置の危険箇所は把握しているか。

A 違反はしていないし、被害が出ていない。

Q 被害者が出てからでは遅いのではないか。

A 今回の法改正により規制が強化されている。

Q 市民の不安の声を都市教育民生常任委員会として提言した。法律に違反していなければ、何でも許されるのか。

A 違反していないので、告訴できない。

Q 告訴できない。だからこそ他市町では条例をつくっている。名張市でも市民の安全、安心、景観を守るため条例がつくられた。自治体条例があると事業者は無理なパネル設置を進めにくい。どう考えるか。

A 厳しい条例をつくろうとすると、市街化調整区域のように個人の経済活動にまで影響が出てしまう。今回の法改正で十分である。

## 市民目線で具体的な政策を

Q 当市では、第2期SDGs未来都市計画が進められている。計画には現在のいなべ市の重要な課題と改善方法がSDGs目標達成の視点で記載されている。改善方法としてGCI、山辺の暮らしに重点を置いた計画である。さらに住みやすいまちになるよう、質問する。いなべ市の大きな課題である若者の流出について、GCI、山辺の暮らしの取り組みは移住促進には効果はあるが、若者の流出防止に関して足りていないと感じる。この取り組みで足りているか。

A 足りている。

Q GCIなどハード面、事業者目線の取り組みだけでは若者の流出は食い止められない。例えば玉城町で行っている、農業（無農薬野菜など）で女性の働く場所をつくることなど具体的な政策を取り入れたらどうか。

A SDGs未来都市計画の中に農業も組み込んでいます。





←動画配信  
サイトへ

無会派  
しの はら ふみのり  
篠原史紀

## 介護支援員の業務負担の改善を

### 答／包括的・継続的な支援を充実

- Q 要支援状態になった主原因は、認知症に次いで脳卒中の割合が高い。市の高齢者福祉計画では、脳卒中对策について特に言及されていないが。
- A 脳卒中对策は生活習慣病対策で、高齢者だけではなく若い世代から取り組むべき対策。
- Q 40・50代の特定検診受診者が少ないことも懸念されるが、企業や健康保険組合等の保険者への生活習慣病対策の強化が必要では。
- A 「げんき応援あぶり」を活用した健康づくりを企業等へ積極的に紹介していく。



いなべ年度登録目標3,000人に対し3,675人が登録（9月末現在）

- Q 介護人材不足が懸念される中、人材確保は急務だ。特に取り組んでいることは。
- A 介護職を目指す学生の実習を積極的に受け入れている。いなべ総合学園の生徒と福祉に関する啓発活動を実施。「地域づくりフォーラム」では、生徒に活動映像の出演等、人材発掘と育成に努めている。
- Q 身近な高齢者の相談の場「暮らしの保健室」は旧4町地区に整備された。東京都にある本家保健室への視察で「保健室機能で最も大切なのは、課題を有している高齢者を専門機関につなぐ機能である」と聞いた。保健室と地域包括支援センターとの連携をさらに強化すべきと考えるが。
- A 令和5年度からはソフト面の充実を図っている。保健室での相談事項は報告を受けており、地域包括支援センターと情報共有を行い、早期支援に結び付くよう取り組み始めている。

## 避難訓練と AED講習

9月27日（水）本会議終了後に、避難訓練とAED講習を行いました。

※  
議会BCP（いなべ市議会業務継続計画）に基づき、本会議中に震度6強の地震を想定した避難訓練を出席者と傍聴者の安全を確保し、防災ずきんをかぶって議会棟から避難するという訓練を行いました。傍聴者も訓練に参加してもらいました。



防災訓練のようす

その後、いなべ市女性消防団によるAED講習を受けました。

AEDの使い方の説明を受け、数人の議員が体験しました。安全確保や協力者を求めるなど細かい配慮も教えてもらいました。

議会としてもいつなにか、どんなことが起こるかわからない事態に備えていきます。



女性消防団によるAED講習

※BCP…自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に備えて、事業の継続や復旧を図るための計画。

# 市民と議会の意見交換会

「あなたの声、議会に届いていますか」と題して、市民と議会の意見交換会を8月19日(土)にシビックコア棟で開催しました。43人の参加者を、8つのグループに分け、3つのテーマについて意見交換を行いました。参加者が大勢となったため声が聞こえにくかったり、届きにくかったりしましたが、たくさんのご意見をもらいました。皆さまのご意見から、目指す議会の姿をもう一度議論していきます。



## こんなご意見をいただきました

### 1 いなべに住んで良かったこと、残念なこと

|                 |                   |          |
|-----------------|-------------------|----------|
| 自然災害が少ない        | 地域の連帯感が強い         | 病気が良くなった |
| 自然がいっぱいで子育てしやすい | 水がきれい、お米がうまい      | 公共交通が不便  |
| 草刈りっぱなし         | 住民に寄り添った行政を行ってほしい | 少子高齢化    |

### 2 議会の印象、議会に期待すること

|                 |                    |                         |
|-----------------|--------------------|-------------------------|
| 議会が何をしているかわからない | 議会傍聴が少ない           | 議員の意見が少ない               |
| また意見交換会をしてほしい   | 賛成した議員の理由が知りたい     | 平日議会の夜間開催で傍聴できるようにしてほしい |
| 全議員が出来高の報酬にするべき | 市民との結びつき、市民の声を反映して | 議論を重ねていろいろ提案を           |

### 3 未来のいなべについて

|                  |                       |                |
|------------------|-----------------------|----------------|
| 気軽に遊びに行ける公園を     | 河川をもっと整備して            | 子育て支援にもっと力を注いで |
| 道の駅をつくって         | 若者定住、出身者が戻って来たいというまちに | 中央図書館を考えては     |
| 人口減対策をしっかりと取り組んで | 市民も関心を持つべき            | 市民のためにお金を使って   |

※一部抜粋

## アンケート調査から

- 議員定数の見直し
- 参加者の素直な意見が多く良かった
- 周囲が騒がしい音で十分な話し合いが難しい
- 高齢者が多い。若い人の大胆な声も聞きたい など

次は、いなべ市議会が議会活動の新たなステージへ進むため「議会の行動計画」を策定し、令和5年11月5日(日)にはフォーラムを開催し、みなさんへ宣言します。





クイズの応募はがきに書き添えられた、議会・議会だよりなどに対するご意見や感想を紹介します。紙面の都合上、すべてのお声を掲載できませんのでご了承ください。たくさんのお声をありがとうございました。

- 市民の声をもっと聞く事。実際の議会議場で質問、答弁は聴いていないがよむギカイを見る限り、答弁に対しての追及が余りされていない。 71歳
- いなべ市は災害の報道をあまり耳にしないので、恐らく全国的に見ても災害が少ない方なのだろうと思います。最近の市民講座で全国で最も災害体験が少ないのは山形県であると教えられました。(雪による災害は少なくないようですが) 地球的にあるいは気象条件が幸いしているのかも知れませんが、行政による努力もあるのだろうと思います。災害の少ない県に学んでいなべ市がさらに災害の少ないところになるように住民と共に努力してほしいです。 64歳
- 一人暮らしをしています。少し耳が不自由です。毎日元気に生活を送っていますが、何かに付けてスマホが社会の中で重要な働きをしている現在、ガラケーしか使っていない自分には不便です。 80歳
- 高齢者の介護施設やサービスの向上など高齢者にとって住みやすい街づくりについてもっと話し合いたいです。 52歳
- いなべ市で使えるプレミアム商品券があれば良いと思う。 59歳
- 議会の皆様方にぜひお伝えしたい事柄があり数年お願いしたい思いでいましたのです。それは現在いなべ市には雨天時の子供達の「いばしょ」がなくなっています。以前は○△□の場所にピアノあり、本あり、卓球台、様々な遊具が沢山貸し出され異年齢の子供達で楽しく一日を過ごせる場所がありましたが、現在は無くなってしまい他の県など多方面で多くの場所で備えられているのを聞いております。ショッピングモール等で無料で遊べる場所もありますが、このような場所を準備していただくと喜べる母さんが多くおられます。プールの次に考えて下さると嬉しいです。 78歳

- 「賛成と反対が分かれた議案」の賛成意見と反対意見を比較してみたい。例え賛成多数だとしても、反対意見にも一理あるものだし、可決された議案の今後を見たときに、反対意見が参考になることがあると思います。 52歳

- いつも目を通して、情報を得ています。議員さんの活動や何を重要視しているかを参考にして、今後の投票にいかしていきたいです。 57歳

- 温水プールの計画が進んでいることを知り、楽しみになりました。今妊娠中で、出産したら子供と一緒にプールへ出かけたいです。また、ゴミ袋のリニューアルは考えていないとのことですが、取っ手付きにすると、結びやすいのでいいなあと思いました。 28歳

- 議員のみなさんが、いろんな角度から質問されているのは、よくわかります。ただ気になるのは、質問をして回答をもらったあと、どうするのか、どのような問題点があるのか、もう少し深掘りして、様々な案件に対して議論されている内容を伝えて欲しいと思います。 61歳

- シングルで子育てしています。特別子育て給付金がもらえるのは市民税非課税世帯か収入が市民税非課税世帯まで低下した家庭とあり、なにかモヤモヤしたものがあります。一生懸命頑張って子どもにも無理させて、なんとか生活を維持させているのに貰えない…確かに収入はあるかも知れませんが、共働き世帯と比較したら圧倒的に少ないと思います！シングル家庭への支援や援助制度には収入制限を無しにしてほしいです！ 48歳

- 藤原岳に登った帰りにいなべ市役所に寄った際に拝読しております。いなべ市の今後についてとてもわかりやすく書いてあり勉強になりました。私は四日市市民ですが、いなべ市は食と自然に恵まれていると思います。ハチミツが好きですとても。 25歳

- 「白滝の虹」の写真は見事。どこにあるのかなあ… 87歳

お答えします！北勢町川原にある東林寺の敷地内にあります

## クイズの解答

ご応募いただき、ありがとうございました。正解者の中から、当選者15名の抽選を厳正に行いました。当選者の発表は図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

正解は

- 問1 19日  
問2 ③白滝  
問3 11人

応募いただいた「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。



## 2年間ありがとうございました

左前 片山秀樹委員長 右前 岡 恒和副委員長  
左後 伊藤三保委員 右後 渡辺一弘委員  
原田敬司委員

## 編集後記

2年間、このメンバーで議会だよりを作成してきました。

読みやすく、目に留まりやすいよう、語句の使い方や文章の構成、レイアウトなどたくさん勉強して編集してきました。いかがでしたでしょうか。

ご愛読いただき、また、たくさんのご意見、ご感想をいただき感謝いたします。

## 12月定例議会について(予定)

- ◆開会日 .....11月28日(火)
- 一般質問.....12月 5日(火)
- 12月 6日(水)
- 総括質疑.....12月12日(火)
- 予算決算常任委員会.....12月12日(火)
- 総務経済常任委員会・分科会...12月13日(水)
- 都市教育民生常任委員会・分科会...12月14日(木)
- 予算決算常任委員会.....12月20日(水)
- ◆閉会日 .....12月22日(金)

## インターネット配信



中継配信 URL

[http://inabe.gijiroku.com/g07\\_broadcasting.asp](http://inabe.gijiroku.com/g07_broadcasting.asp)



録画配信 URL

[http://inabe.gijiroku.com/g07\\_Video\\_Search.asp](http://inabe.gijiroku.com/g07_Video_Search.asp)

## 録音放送

いなべFM(86.1MHz)で議会の録音放送を聴くことができます。

詳しくはいなべ市ホームページにてご確認ください。

## 議会の傍聴

市議会では本会議、委員会の開催日に傍聴席を開放しています。お気軽にお越しください。

受付場所：いなべ市役所議会棟2階

## SNSの配信

市議会の情報を配信しています。



## ご意見箱の設置

皆さまのご意見をお待ちしています。

設置場所 市役所1階(正面玄関付近)

議会棟1階(入口付近)

議会棟2階(傍聴席入口付近)

## いなべ市議会 議会事務局

〒511-0498 三重県いなべ市北勢町阿下喜31番地

TEL 0594-86-7848 FAX 0594-86-7872

<https://www.city.inabe.mie.jp/gikai/>

